

# 地域の力でまなびを支援 ～自学自習の習慣や基本的な学力の定着を図る～

## 京都府京都市

### 活動名

竹の里小学校放課後まなび教室による活動

### 関係する学校

竹の里小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア参加数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		1人	36人	175日	有	有	無	無
		実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
		放課後まなび教室			19年度	一体型		
		指 定 日			委員数	児童生徒数	学級数	

**活動の概要・経緯**

- 放課後における児童の自学自習を中心とした学習習慣の定着と安心安全な居場所の充実を図るため、平成19年度に開設。
- 平成19年度の開設当初から、授業実施期間中は週5日（月曜日～金曜日）実施しており、平成26年度は一年間で175日実施している。
- 全校児童の約4割が登録しており、多いときには50名近くの児童が出席し活気のある活動が行われている。
- スタッフは、地域の自治連合会長を中心に学校運営協議会のメンバーや元保護者、元小学校教員などの地域の方々約20名で構成されており、ローテーションを組んで日々の運営に参画している。

## 特 徴

### 【特徴的な活動内容】

- 教室に来た児童は、まず宿題や音読などの自学自習に取り組んでおり、個々の児童の状況に応じてスタッフが児童に寄り添い、丁寧に支援している。学習が終わると読書をしたり、折り紙、ゲーム、パズル、ビーズ手芸、編み物をしたりと様々な取組を楽しんでいる。
- 例年、夏休み期間中に実施している陶芸教室などスタッフの特技を活かした体験活動などの取組も実施されている。
- 放課後まなび教室に隣接した部屋でゆうゆうクラブ（放課後児童健全育成事業）を実施している。放課後まなび教室登録児童のうち約4割がゆうゆうクラブにも登録しており、多くの児童が放課後まなび教室での活動を終えた後、引き続き、隣室のゆうゆうクラブに移動して活動を行っている。

### 【実施に当たっての工夫】

- スタッフは、「温かい雰囲気」の放課後まなび教室をつくろうと共通理解した上で、個々の児童の実態を把握し丁寧に児童に対応している。
- スタッフの会議には校長・教頭等も参加し、放課後まなび教室の運営や児童の状況についても話し合い、スタッフと学校の連携・協力が図られている。学校の教員が放課後まなび教室での児童の活動の様子を見に来ることも増えており、スタッフと学校の共通理解が進んでいる。
- ゆうゆうクラブと場所が隣接していることもあり、放課後まなび教室とゆうゆうクラブのスタッフ同士が日常的に情報交換等を行うとともに、放課後まなび教室の催しにゆうゆうクラブの児童が参加するなど連携を図っている。

## 事業を実施して

- スタッフが見守る中で児童がリラックスして活動に取り組める場となっている。
- 児童は教室に来ると宿題などの自学自習に向かう姿勢が身につくよう、スタッフの丁寧な支援により「わかる喜び」「達成感」を感じることができている。
- 地域の参画で「放課後まなび教室」を実施することにより、学校と地域の連携がより一層促進されている。

## その他

- 「地域の子どもたちのために」の思いを胸にスタッフが連携・協力して、できる限り実施日数を確保しており、児童の放課後の「自主的な学びの場」、「安心・安全な居場所」として定着している。



学習に取り組む児童に寄り添うスタッフ



日常の放課後まなび教室の様子

